



東京都指定の文化財建造物「旧前田侯爵家駒場本邸洋館」。都が指定した文化財建造物は当館を含め現在 61。

【写真提供＝都教育委員会】

文化財守る学芸員 ヒトリでは…

3月14日に行われた都議会予算特別委員会で遠藤都議は、歴史的・文化的価値が高い都文化財の保存管理にも言及。

都内には、国や都指定の文化財が全国最多の約4000件あるにもかかわらず、その保存管理を担当する都の学芸員（正規）が1名しかいない実態を指摘し、増員を求めました。

これに対し教育長は、文化財に関する調査能力、保存管理に関する知識など、高い専門性が維持できるよう「長期的展望に立って、文化財保護行政を着実に推進する体制を検討していく」と答え、学芸員を増員する意向を示しました。

「港南四水門」は廃止し、防潮堤を整備

遠藤都議は、東京港にある全19水門のうち、大田区沿岸部の港南四水門（南前堀、北前堀、呑川、貴船）では、今まで耐震対策が行われていないことを問題視し、「最優先で対策を講じるべき」と訴えました。

これに対し港湾局長は、4つの水門はすべて廃止し、防潮堤を整備する考えを示した上で、「大田区とも連携し、早期の整備に取り組む」と約しました。

（写真⑥は現在の貴船水門。これら4機の水門は撤去され、写真奥に見える水路に沿って防潮堤が整備される。【写真提供＝都港湾局】）



予算特別委員会では、これらのテーマ以外に、

①羽田空港の跡地開発に関する都と大田区の連携強化

②伊豆諸島住民が本土の医療機関を受診する際にかかる交通・宿泊費の助成拡充
——について、猪瀬知事らと議論しました。